

1 単元 Let's Try! 2 Unit 7 What do you want?

2 目標

- 相手に配慮しながら、欲しいものについて積極的に尋ねたり答えたりしようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
(外国語への慣れ親しみ)
- 野菜や果物について日本語と英語の言い方の共通点や相違点に気付く。
(言語や文化に関する気付き)

3 指導に当たって

本単元は、欲しいものを尋ね合う場面を通して、コミュニケーションの大切さや楽しさを実感しながら活動することができる単元である。店員役と客役に分かれて欲しいものを尋ね合うというコミュニケーション活動を通して、“What do you want?” “I want ~, please.”の表現に慣れ親しむ。これらを用いながら、相手の思いを理解しようとしたり、自分の思いを伝えようとしたりする中で、相手との関係を円滑にするためのコミュニケーションの良さや大切さを理解することができる。また、単元の終わりには教室を新治マーケットという場に設定することで、慣れ親しんだ表現を活用しながら、目の前の相手に欲しいものを尋ねたり答えたりする意欲が高まると考える。

本単元を指導するに当たり、実態調査を実施したところ、以下の結果となった。

(平成**年*月**日実施 第4学年*組 **人)

1	英語で話すことに自信がありますか。	・自信がある *人	・どちらかといえばある *人
		・どちらかといえない *人	・自信がない *人
2	友達に英語を話すときに気を付けていることは何ですか。(複数回答)	・相手に伝わる声で話している。 *人	
		・相手の表情を見て話している。 *人	
		・ジェスチャーを使って話している。 *人	
3	外国語活動の時間で、友達の話を書くときに気を付けていることは何ですか。(複数回答)	・うなずいたり相づちを打ったりして聞いている。 *人	
		・相手の話の内容を考えながら聞いている。 *人	
		・相手の表情を見て聞いている。 *人	

実態調査から、半数以上の児童が英語で話すことに自信がないということが分かった。その理由として、英語で何と言ったらいいか分からないということが挙げられていた。また、コミュニケーション活動においては、相手に伝えることだけに終始してしまい、ジェスチャーを使ったり相手の表情を見たりすることが不十分であると言える。そのため、コミュニケーションに必要である、相手の話に共感したり、反応したりすることについても指導する必要があると考える。

本単元のゴールで目指す姿は、「相手に伝わるように工夫しながら何が欲しいかを尋ねたり答えたりしている姿」である。そこで、簡単なゲームを取り入れたり場の設定をしたりすることで、児童が楽しみながら、果物や野菜の名前、“What do you want?”の言い方に慣れ親しみ、自信をもってコミュニケーション活動に取り組むことができるようにしたい。また、うなずきや相づち、ジェスチャーを使いながら会話を盛り上げることで、相手意識をもった、心のもったコミュニケーションとなることにも気付かせたい。単元を見通せる振り返りカードを活用することで、児童の意欲がさらに高まり、自信をもって次時の授業に臨めるようにしていきたい。

4 学習と評価の計画 (5時間扱い)

時	本時の目標	学習活動・内容	評価規準 (方法)	関	慣	気
1	食材の言い方に慣れ親しみ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知る。	・ Let's Watch and Think (P.27) ・ チャンツ ・ カルタゲーム	欲しいものを尋ねる言い方を知ろうとしている。 (行動観察, 振り返りカード)		○	◎
2	食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	・ チャンツ ・ カード集めゲーム ・ 買い物ゲーム	欲しいものを尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しんでいる。 (行動観察, 振り返りカード)		◎	○
3	欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	・ チャンツ ・ Let's Listen (P.28) ・ オリジナルパフェ作り	積極的にコミュニケーションを図り、欲しいものを尋ねる言い方を使おうとしている。 (行動観察, 振り返りカード)	○	◎	
4	つなぎ言葉やジェスチャーを使って、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。	・ チャンツ ・ Let's Listen (P.29) ・ オリジナル野菜サラダ作り	つなぎ言葉やジェスチャーを使って、積極的にサラダ作りをしようとしている。 (行動観察, 振り返りカード)	◎	○	

5 (本時)	相手意識をもって、欲しいものを探ねたり答えたりしようとする。	・チャッツ ・新治マーケットを開こう	既習表現を使い、相手意識をもって欲しいものについて探ねたり答えたりしている。(行動観察、振り返りカード)	◎	○	
-----------	--------------------------------	-----------------------	--	---	---	--

5 本時の学習

(1) 目標

相手意識をもって、欲しいものを探ねたり答えたりしようとする。

(2) 準備・資料

Let's Try! 2, 絵カード(野菜, 果物, Tシャツ), 会話文, PC, TV, 振り返りカード

(3) 展開

☆は、配慮すべき児童への支援

学習活動・内容	指導と評価	
	H R T	A L T
<p>1 英語であいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT, HRTとあいさつをする。 ・ペアになり今日の気分について尋ね合う。 <p>2 ウォームアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“Hello song”を歌う。 ・ALT, HRTと会話をする。 ・三人の友達と会話をする。 <p>3 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 友達にほしいものをたずねたり答えたりしよう。 ～新治マーケットを開こう～ </div> <p>4 本時の活動に取り組む。</p> <p>(1) Let's Chant を行う。</p> <p>(2) 新治マーケットを開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店員役の児童は、客役の児童の欲しいものを聞き、品物を渡す。 ・客役の児童は、様々な店を訪れ、買い物をする。 ・クラス内で店員と客の役割を交換しながら活動する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 店員：What do you want? 客：I want ～, please. 店員：O.K. How many? 客：～, please. 店員：Here you are. 客：Thank you. 店員：You are welcome. </div> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 振り返りカードに記入する。</p> <p>(2) 感想を発表する。</p> <p>6 終わりのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT, HRTとあいさつをする。 <p>Goodbye. See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気いっぱいにあいさつをし、和やかな雰囲気を作る。 ・簡単な教室英語をできるだけ多くの場面で使用する。 ・PC を操作し、歌をスタートさせる。 ・デモンストレーションを行い、児童が活動内容を理解できるようにする。 ・教室内を歩き、音楽が止まったときに目の前にいる児童に欲しいものについて尋ねる。 ・本時のめあてと活動の流れを伝え、児童が見通しをもって活動できるようにする。 ・買い物シートについて説明する。 ・野菜カードと果物カードを黒板に貼る。 ・間違えてもよいので、しっかり声を出すよう声をかける。 ・店員役と客役になって、表情やジェスチャーを使いながら活動のモデルを示す。 ・表現の練習を行い、活動の流れを確認する。 ・ジェスチャーを付けたり表情を豊かにしたりするよう助言する。 ☆戸惑っている児童には、単語だけで表現してもよいことを助言する。 ・必要に応じて活動を止め、積極的に発話したり、表情やジェスチャーをつけたりしている児童を全体に紹介する。 ・児童の会話の中で、即興的なやり取りが見られたら、称賛し、励ますようにする。 ◎ 既習表現を使い、相手意識をもって、欲しいものについて探ねたり答えたりしている。(行動観察、振り返りカード) ・授業を通して気付いたことや学んだことについて記入させる。 ・友達とのコミュニケーションについて書いている児童に発表させ、よかった点を称賛する。 ・称賛の言葉をかけながら、あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく元気にあいさつし、雰囲気を盛り上げる。 ・児童と一緒に動作を付けて楽しく歌う。 ・児童が活動内容を理解できる ・児童が選んだ野菜や果物に替えて行う。 ・児童の様子を観察し、言い方が分からない児童や戸惑っている児童に助言する。 ・本時のめあてを掲示する。 ・買い物シートを配付する。 ・児童の活動の中で、英語表現などでよかった点を称賛し、次時への意欲につなげられるようにする。 ・次時への意欲を喚起するように、元気よくあいさつをする。